

令和4年度 仙台市産業廃棄物処理指導実施計画達成状況

1 発生抑制の推進

(1) 排出事業者指導

・多量排出事業者に対する指導	目標	実績
立入検査・指導等件数	10件	10件
産業廃棄物処理計画及び実施状況の提出率（※）	100%	100%

（※ 令和3年度処理計画提出件数 130件）

・多量排出事業者以外の排出事業者に対する指導	目標	実績
立入検査・指導等件数	随時、通年	34件
内、病院等への立入検査・指導等件数	随時、通年	0件
事業系一般廃棄物の立入検査・指導等の際に併せて指導等した件数	随時、通年	14件
一般廃棄物処理施設（市の清掃工場）において行う産業廃棄物排出事業者に対する指導	随時、通年	14回

(2) 普及・啓発

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に関する社会情勢を考慮し、セミナーの開催は見送りましたが、業界団体主催の研修に講師を派遣する等して啓発を行いました。

・排出事業者向け P R	目標	実績
産業廃棄物セミナーの実施	実施	未実施

・市民向け P R	目標	実績
ホームページによる周知	実施	実施
出前講座の実施	随時	5回
ラジオ放送の実施	実施	実施

2 資源化（再利用・再生利用）及び減量化の推進

(1) 排出事業者指導 ○「1（1）排出事業者指導」に同じ。

(2) 建設リサイクル法への対応

・建設リサイクル法への対応	目標	実績
立入検査・指導等件数	随時、通年	149件

(3) 自動車リサイクル法への対応

・自動車リサイクル法への対応	目標	実績
立入検査・指導等件数	50件(※)	27件

(※ 本市許可業者 22 社に対する立入目標値)

(4) 実績管理

・仙台市域の資源化又は減量化した率(※1)	目標	実績(※2)
全体 (全種類の合計)	98%	97%
内、がれき類	99%	99%
内、木くず	98%	97%

(※1 「総発生量 (有価物量+排出量)」に対する「資源化量+減量化量」の率)

(※2 「宮城県産業廃棄物等実態調査報告書」の推定値から算定、3 年度実績データが最新 )

3 適正処理の確保

(1) 排出事業者指導

・排出事業者への指導	目標	実績
多量排出事業者に対する立入検査・指導等件数 (※)	10 件	10件
多量排出事業者以外の排出事業者に対する立入検査・指導等件数 (※)	随時、通年	34件
内、病院等への立入検査・指導等件数 (※)	随時、通年	0件
事業系一般廃棄物の立入検査・指導等の際に併せて指導等した件数 (※)	随時、通年	14件
廃石綿等の排出事業者 (飛散性アスベスト排出事業者) に対する立入検査・指導等件数	随時、通年	5件
事業場外で保管する産業廃棄物の届出制度に関する指導件数	随時、通年	届出なし

(※ 再掲)

・自己処理用許可施設の構造・維持管理基準等の周知徹底	目標	実績
事前協議	随時、通年	申請なし

・処理実績の把握	目標	実績
産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出のホームページ等による周知	実施	実施
多量排出事業者の処理計画に係る実施状況報告書の提出率	100%	100%
自己処理施設処理実績報告書の提出率	100%	100%

(2) 収集運搬業者指導

・収集運搬業者への指導	目標	実績
立入検査・指導等件数	10件(※)	10件
収集運搬業処理実績報告書の提出率	100%	100%

(※ 本市許可業者 59 社のうち、本市内に事業場を有する 38 業者に対する立入目標値)

(3) 処分（中間処理及び最終処分）業者指導

法令・指導要綱に基づき、随時立入調査により帳簿類のチェックや放流水の検査等を行い、適正処理を指導した結果、概ね適正に処理されていることを確認しました。

・処分業者への指導	目標	実績
立入検査・指導等件数	300件(※)	318件
処分実績報告書の提出率	100%	100%
ダイオキシン類濃度行政測定件数	6件	6件
ダイオキシン類濃度自主測定立会件数	6件	5件

(※ 本市許可業者 94 業者に対する立入目標値)

(4) 処理施設の管理に関する指導

・施設充足状況の把握等	目標	実績
処理能力及び残存容量の把握率	100%	100%

(5) PCB 特別措置法への対応

・PCB特別措置法への対応	目標	実績
PCB保管状況届出（前年度分）の提出率	100%	100%
PCB保管状況届出事業者への立入検査・指導等件数（委託含む）	50件(※1)	193件
PCB保管状況届出事業場数に対する全量処理済事業場数率（前年度分）(※2)	80%	78%
PCB使用・保管事業者掘り起こしのための立入検査・指導等件数（委託含む）	980件	927件
主催セミナー、協力セミナーなどで早期処理の促進を講話・説明等した件数	随時、通年	2件

(※1 令和3年度にて高濃度の変圧器・コンデンサーは処分期間終了のため、安定器について処分手続きが進まない事業者を対象とします)

(※2 高濃度・低濃度を問わず、各年度の前年度末時点における「届出済みの事業場数累計」に対する「全量処理済みの事業場数累計」の率)

(6) フロン回収破壊法への対応

・フロン回収破壊法への対応	目標	実績(※1)
第二種フロン類回収及び保管状況の提出率	100%(※2)	無し(※3)

(※1 実績は廃業等を除く)

(※2 対象1社に対する目標値)

(※3 令和4年4月29日 対象1社失効による)

(7) 広報活動

本市ホームページ等による広報活動	目標	実績
法改正等の公表	実施	随時公表
処理業者名簿の公表	実施	更新1回
優良認定業者の公表	実施	実施
行政処分の公表	実施	処分なし

(8) 不適正処理への対応

・不適正処理への対応	目標	実績
不法投棄等対応件数	随時、通年	243件
現職警察官配置	1名	1名
産廃Gメン配置	7名	7名
産廃Gメン監視パトロールの実施	随時、通年	242回
民間委託休日等パトロールの実施回数	85回	83回
スカイパトロール実施回数	6回	6回
南東北産業廃棄物運搬車両一斉検問	1回	1回
広報活動	実施	実施(※)
監視カメラ保有台数(設置箇所・設置台数)	17台	19台
不法投棄防止啓発看板作成	50枚	50枚

(※ AM1局・FM1局にて、宮城県の不法投棄防止強化月間である8月、9月、10月に、合計90回ラジオ放送。1回20秒のCM、3パターンで実施。

不法投棄防止強化月間である9月に、仙台市地下鉄・JR東日本県内9路線の窓上に不法投棄防止啓発ポスターを掲示。)